

ハイデルベルク信仰問答より

問 50 どうして、「神の右に座し」とつけ加えられているのですか。

答え それは、キリストが天に上げられたのは、そこで、教会のかしらとしてご自身をお示しになり（エペソ 1:20-23）、彼を通して、御父が一切のものを統べ治められるためです（マタイ 28:18）。

問 50 では、使徒信条の「(天に昇り) 全能の父なる神の右に座したまえり」の部分が扱われています。主が天に昇られた目的を振り返ると、問 49 では「①私たちのとりなし」「②栄光のからだの用意」「③担保として聖霊を握っておられる」という三つの内容でまとめられていました。主イエスが天で行なっておられることが明らかになったのですが、それに加えて「神の右に座しておられる」という内容が添えられている点に着目するのです。

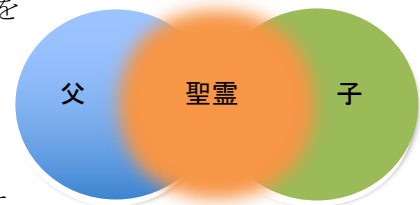
聖書において「右」は基本的に肯定的な意味を持ち、特に詩篇の中で「神の右の御手」という表現が多く出てきます。一般的に右利きの人が多いため、神の全能、神の力を表す比喻として用いられます。

【例】

- ・ あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。（詩篇 16:11）
- ・ 私のだましいは、あなたにすがり、あなたの右の手は、私をささえてくださいます。（詩篇 63:8）
- ・ そうして、王は、その右にいる者たちに言います。『さあ、わたしの父に祝福された人たち。世の初めから、あなたがたのために備えられた御国を継ぎなさい。（マタイ 25:34）

使徒信条の中で、主イエスが「(父なる) 神の右に座しておられる」と言われるとき、神の全権が彼に託されていることを意味します。主イエスこそ全能なる神ご自身、三位一体の第二位格であり、神の力のすべてを保有しておられる方だという信仰告白です。

三位一体を図にしてみるとところにはいささか問題がなくはないのですが、敢えてイメージしてみましょう。父と子は同じ御霊を宿しておられ、完全な愛によって結ばれています。すべての知識を共有し、同じ力に満ち溢れ、一糸乱れぬ一致をもって万物を統治しておられます。子は父に従順を示しますが、それは「優劣」を意味するのではなく、子としての身分をわきまえたところの愛の表現なのです。父は、本来ご自身に具わった権威の一切を子に一任しておられます。その権威の究極的な現れは、最後の審判の日に主イエスの一存によって、人間の永遠の行き先が決定される場所に見られるでしょう。また、主イエスの御手によって、万物は贖われることになるのです。



主イエスは「**教会のかしら**」であり、罪赦された人間の集まりである教会を「ご自身のかからだ」として愛し、これを治め、痛んだ世界を回復へと導こうとしておられます。主イエスは脳として考え、からだなる教会に常に司令を与えておられます。神の国（神の支配）は、教会を通して全世界に及ぶというのです。そして、それこそが父なる神様の御心であり、その御心は主イエスを通して、更に教会を通して実現されます。まさに「**彼を通して、御父が一切のものを統べ治められるため**」なのです。